

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	小牧山文化事業						担当部	教育委員会事務局		
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	文化振興課		
	事業期間	平成17年度			～	平成30年度以降		担当係	文化振興係		
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		20 文化・芸術		2 市の特色を活かした事業を展開する				
		副目的	20-4								
	予算区分	款	10	項	5	目	5	大	3	中	11
	根拠法令・個別計画	小牧市文化振興ビジョン									
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	16 %		委託	84 %		助成	0 %		
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	小牧山史跡公園の整備と市制50周年を記念して実施した薪能を継続的に開催し、史跡小牧山を広く市内外にPRするとともに、伝統芸能の素晴らしさや楽しみ方を市民に味わっていただくことにより、小牧のシンボルである小牧山を文化の発信拠点とする。									
	内容 (手段)	<p>○23年度実施内容 小牧山薪能(7,923千円) 能楽協会名古屋支部の出演による薪能を実施。伝統芸能をより楽しんでいただくための展示・体験コーナーを設置。オープニングセレモニーとして市内謡曲連盟の仕舞で盛り上げ、気楽に楽しめる機会を提供。 職員は ①能楽協会名古屋支部との演目・出演者調整を行い、プログラム・番組表を作成する。 ②事前PR活動を行う。 ③舞台・客席の設営手配を行う。 ④出演者等の手配、協力ボランティアへの依頼等、タイムスケジュール管理を行う。 ⑤実行委員会を開催し、イベントとしての市民参画を促進する。 ⑥音声ガイダンスの申込受付を行う。 平成23年度 9月10日 史跡小牧山 約6,000人の観客 お月見まつり(商工観光課)、ランドマークフェスタ2011(青年会議所)と同時開催</p> <p>○24年度実施内容 23年度と同様に実施</p>									
受益者負担	ラジオガイダンス27,500円(500円×55名)										

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	7,998	7,982	7,923	8,000	
		正職員	従事者数	人	0.25	0.25	0.25	0.25
			人件費	千円	1,329	1,329	1,329	1,329
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.10	0.02	0.02
			人件費	千円	0	50	32	32
		費用合計		千円	9,327	9,361	9,284	9,361
	対前年比		%		100.3	99.1	100.8	
財源	一般財源	千円	9,327	9,361	9,257	9,331		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	27	30		

業 績	活動指標名		単位	H21	H22	H23	H24
	公演回数	回	目標	1	1	1	1
			実績	1	1	1	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H21	H22	H23	H24
	来場者数	人	目標	4,500	5,000	5,500	6,000
			実績	5,000	5,500	6,000	
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	来場者がさらに増加し、史跡小牧山を広くPRでき、伝統芸能のよさを伝えることができた。
		事業実施における課題等	市外、県外からの来場者も多数あるが、小牧駅から小牧山までの動線がないのが現状である。薪能の認知度をさらに高めるためにも関係団体と連携し、まちを活性化させる方策が必要である。
		事業を縮小・廃止したときの影響	市制50周年記念として平成17年度から開始した薪能を継続的に開催することは、伝統芸能への理解を深める手段として小牧では欠かせない事業となっており、廃止をすればこれらの機能が果せなくなると考える。
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持	
	判定理由	毎年、継続事業として定着しており、市内外から好評を得ていることから、内容に変化を持たせるなど充実させ実施したい。	
	改善案等	ラジオガイダンスにより、目と耳で初心者向けのわかりやすい解説をして市民が伝統芸能への関心をさらに深められるように工夫する。また、引き続き、お月見まつりと同時開催し、商工会議所や青年会議所等の外部団体と市の担当部署と連携しながら、小牧の文化を盛り上げていく。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。